

マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

第65号(平成22年12月)

釣人の事故が相次いで発生



つければ浮くぞう
ライフジャケット

ライフジャケット着用推進会議

平成22年11月
プレジャーボート等
海難発生隻数

合計	12隻
衝突	1
乗揚	0
転覆	0
浸水	0
推進器障害	2
舵障害	0
機関故障	7
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航障害	2
安全障害	0
その他	0

マリンレジャーに伴う
海浜事故者数

合計人(4人)	
遊泳中	0(0)
釣り中	4(1)
サーフィン中	0(0)
ダイビング中	0(0)
その他	0(0)

()内は死亡
・行方不明者数

《事例1》11月11日午前8時00分頃、Aさん(59才)は自宅を出て一人で萩市須佐町所在の磯場に釣りに出かけました。

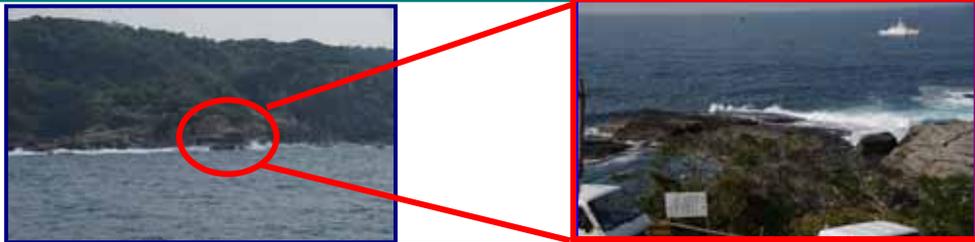
午前8時30分頃から釣り始めましたが、午前11時20分頃、突然の高波にさらわれて海中転落してしまいました。

当時付近で釣りをしていた5,6人の方が釣竿を差し延べる等して救助を試みましたが、Aさんは沖の方に流され一時行方不明となったため、釣人の一人が萩警察署に通報しました。

通報を受け駆けつけた警察官が、沖合約30メートルの海上を横臥状態で漂流しているところを発見し、山口県水難救済会の所属船に救助され救急車により病院に搬送されましたが、搬送先の病院で死亡が確認されました。

Aさんは、ライフジャケットを着用していませんでした。

当時の気象・海象 : 晴れ、南の風7m/s、うねり北2~4m



《事例2》Aさん(58才)、Bさん(64才)及びCさん(61才)の三人は11月27日午前10時頃、山口県下関市豊北町の磯場において釣りを始めました。同日午後4時頃の干潮の頃合いを見て帰ることにしていましたが、高波が打ち寄せて帰ることが出来なくなりました。三人は、波が静かになるまで磯場にて待機していましたが、28日の朝になっても波が治まらず陸側に渡ることが出来なかったことからAさんが自宅の奥さんに電話して心配した奥さんが118番通報により救助を求めました。

三人は、海上保安庁福岡航空基地から出動したヘリコプターにより無事吊上げ救助されました。

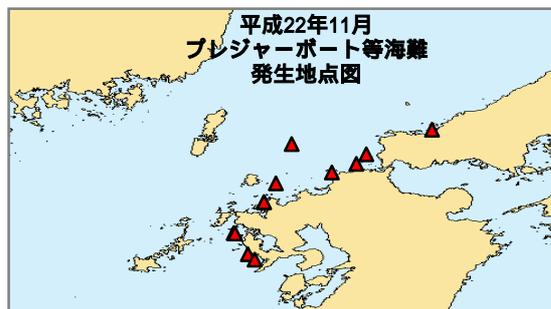
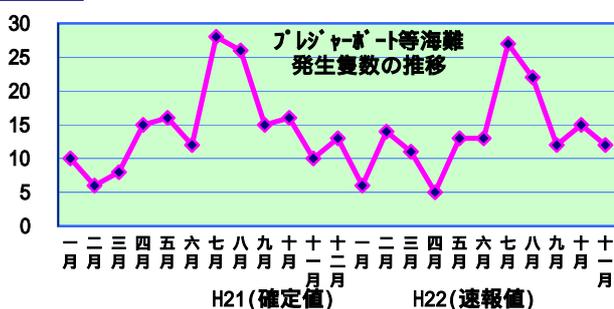
三人ともライフジャケットを着用していませんでした。

当時の気象・海象 : 曇り、北西の風9m/s、うねり北西2~4m



事故の教訓

- ・ 常時、ライフジャケットを着用しましょう。
- ・ 防水パックに入れた携帯電話を携帯しましょう。
- ・ 突然の大波に留意し、備えましょう。
- ・ 単独での釣りは控えましょう。
- ・ 海中転落者を発見したら、ペットボトル、クーラー等の浮力となる物を利用しましょう。
- ・ 釣り場での足もとの安全を確保しておきましょう。



発航前点検をお忘れなく！（船体の点検）

船体の点検

船体外観の点検

目視点検で亀裂等を確認しましょう
破損箇所周辺には小さな亀裂があることも

船底プラグ

船底プラグが緩む又は閉鎖されていない
と、海水が流入し浸水します

ステアリング

舵は滑らかに作動しますか

ハンドル（舵輪）と舵（船外機本体）がスムーズに動くか確認しましょう
作動に異常がある場合、作動油の漏油等の可能性があります



船体の亀裂



油圧シリンダ

スロットル・クラッチレバー

エンジン始動前に、スロットルやクラッチの
レバーはスムーズに動くか確認しましょう
点検後、レバーは中立（アイドリング）位置に



航海灯（又は三色灯）の点検

両色灯やげん灯などの航海灯を装備して
いる船舶は点灯することを確認しましょう
点検後、点灯不要時は消灯



白色全周灯

両色灯



げん灯

ビルジ（油水混合物）

機関室に、海水や燃料油、オイル等のビルジ（油水混合物）が溜まることがあります
出港前に陸揚げ処分を行い、常にビルジが溜まらない状態としましょう
浸水、漏水、漏油等の異常の早期発見が可能となります

スターンチューブ

プロペラ軸と船体の貫通部には海水が流
入しないような構造となっています
取扱説明書等を確認のうえ、漏水がない
か確認してください
（グランドパッキンタイプのものは、運
転時若干の漏水を伴うこともあります）



（船体貫通部）



プロペラ軸

（船体貫通部）

プロペラドライブユニット等

プロペラや舵が曲損したりロープ等が巻き込まれていませんか
振動等が増大し、速力低下、エンジンへの負荷増大やギアの損傷等の不具合が発生する恐れがあります
ドライブユニット及び周りの状況の確認やチルト装置の作動確認も行いましょう



プロペラ・舵



船外機プロペラ

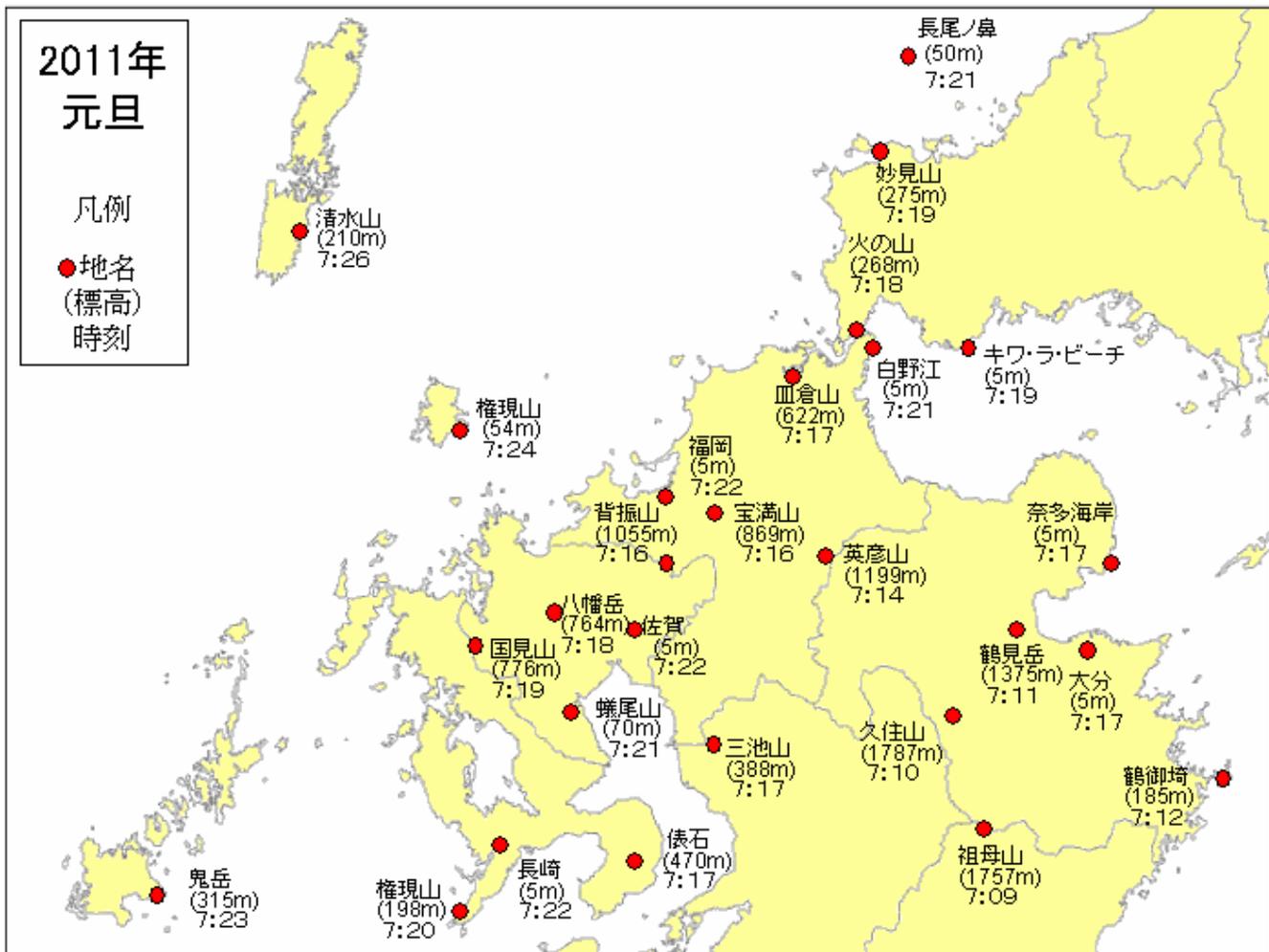


チルト機構

* 船によって構造や機関の種類が異なります。詳しくは購入時の取扱説明書等を確認ください。

2011年初日の出情報

海上保安庁では船舶等が天体を利用して外洋を航海するための天文航法に必要な太陽、月、星などの天体の位置や各港の日出没時刻を掲載した「天測暦」を刊行しています。また、第七管区海上保安本部「海の相談室」では、毎年末に多く寄せられる初日の出時刻の問い合わせにお答えするため、管内の主な地点(別図)の初日の出時刻をとりまとめました。



掲載している地点のうち、キワ・ラ・ビーチ、火の山公園、白野江海岸、清水山城跡などでは、天気が良ければ水平線から太陽が昇る姿を見ることができます。なお、水平線から太陽が昇る姿を見ることができる場所において一番早い初日の出は、九州本島では宮崎県都井岬の7:11、七管区管内では大分県鶴御崎の7:12です。その他の地点においては、日出方向に山などの陸地が存在するため、実際に太陽が出現する時間は本情報より遅くなります。

太陽の昇る方位は東南東になります。真方位では、北を0°とする右回りで117°から118°度付近の方角です。

暗い夜道や海岸を歩く際には、懐中電灯などの明かりで足元を照らし、転倒や海中転落などの事故の防止に十分注意をはってください。